

家畜衛生情報

東部地域畜産経営技術推進指導協議会
677号
富山県東部家畜保健衛生所

西部地域畜産経営技術推進指導協議会
富山県西部家畜保健衛生所

2025.10.10

令和7年度家畜伝染病防疫演習を
開催しました 1
高病原性鳥インフルエンザの流行期に
向けて～侵入防止対策の徹底を～ 2
越境性動物疾病に関する海外の
動向と水際防疫 3
豚熱ワクチンの確実な免疫獲得のために ... 3
第66回全国家畜保健衛生業績発表会
開催される 4

令和7年度富山県畜産共進会(肉豚の部)
が開催されました 4
検査室レポート 5
水田政策の見直しにあたってのアンケート
調査へのご協力をお願い(農林水産省) ... 5
防疫情報 6
富山県収入証紙の販売が終了しました... 6
お知らせ 6

令和7年度家畜伝染病防疫演習を開催しました



高床式鶏舎を想定した鶏の殺処分作業の演習風景

9月30日に富山県民会館、富山県農協会館において令和7年度家畜伝染病防疫演習を開催しました。本演習は高病原性鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病が県内で発生した際に、迅速にまん延防止のための防疫措置が実施できるよう、防疫体制の点検と周知を図ることを目的に毎年開催しています。

今年もすでに隣国の韓国で高病原性鳥インフルエンザが発生しており、これから国内でも発生リスクが高まる季節を迎えます。改めて農場の衛生対策の点検を行い、家畜伝染病の発生予防に万全を期していただくようお願いします。

(東部家保防疫課 先名係長)

高病原性鳥インフルエンザの流行期に向けて～侵入防止対策の徹底を～

令和6年度の高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）シーズンは、過去最速となる10月17日の北海道での発生を皮切りに、令和7年2月までに全国14道県において計51事例が報告されました。殺処分対象羽数は約932万羽にのぼり、特に1月には愛知県・千葉県・岩手県の養鶏集中地域において35事例が発生し、流行のピークを迎えました。今シーズンは、令和7年9月に韓国・京畿道の地鶏農場でH5N1亜型のHPAIが初めて確認されました。昨年より約1か月半早い発生であり、渡り鳥の飛来に伴い、本病ウイルスが日本国内へ侵入するリスクが高まっています。

農林水産省が令和7年7月に公表した疫学調査報告によると、昨シーズンの感染拡大の要因として以下の点が指摘されていることから、下記の対策例を参考に侵入防止対策の徹底をお願いします。

- ・通報までに数日を要した事例では、舎内の環境材料（敷料・羽毛など）からウイルスが検出されており、通報の遅れが感染拡大のリスクを高めることが明らかになった。
- ・発生農場では、防鳥ネットの破損、専用衣服・靴の未使用、誘因源の管理不備など、基本的な衛生管理の不徹底が複数確認された。
- ・野生動物の侵入痕跡がないにもかかわらず感染が確認された事例もあり、塵埃（じんあい）や粉じんを介したウイルス侵入の可能性が示唆された。

出入時対策

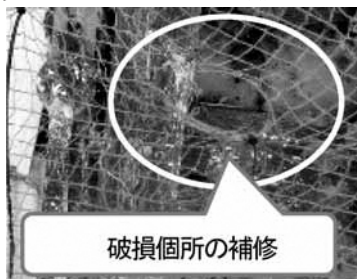
- ・消毒、更衣前後の交差のない動線
- ・明確な境界線の確保



すのこによる交差汚染防止

野生動物対策

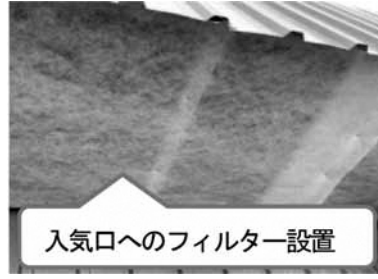
- ・防鳥ネットは隙間がないよう設置
- ・破損部分を補修
- ・鳥よけや忌避テープの活用



破損個所の補修

入気口対策

- ・塵埃対策としてフィルターや不織布を設置



入気口へのフィルター設置

【自己点検の実施について】

写真出典：農林水産省

発生予防対策として、飼養衛生管理の向上を進めるため特に基本的な管理事項である飼養衛生管理基準の下記7項目について遵守の徹底をお願いします。

令和7年10月～令和8年5月までの期間、家さん飼養者の皆様におかれましては、毎月1日を目途に7項目の遵守状況について自己点検を実施し、不備があった場合には速やかに改善措置を講じてください。点検結果につきましては、毎月、管轄家畜保健衛生所に報告をお願いします。

✓発生予防に特に重要な対策（7項目）

- ① 衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等（項目17）
- ② 衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用（項目18）
- ③ 衛生管理区域に立ち入る車両の消毒等（項目19）
- ④ 家さん舎に立ち入る者の手指消毒等（項目22）
- ⑤ 家さん舎ごとの専用の靴の設置および使用（項目23）
- ⑥ 野生動物の侵入防止のためのネット等の設置、点検および修繕（項目25）
→ 特に野鳥の誘因源となる死亡鶏・廃棄卵・堆肥舎・飼料庫等への対策を徹底し、設置場所に応じてテグスや忌避テープなどの遮断資材を活用してください。
- ⑦ ねずみおよび害虫の駆除（項目27）

※カッコ内の番号は、「飼養衛生管理基準（鶏その他家さん）」の改正後の項目番号

【早期通報徹底のお願い】

死亡羽数が通常の2倍に増加した場合や産卵率の低下、元気消失などの普段と異なる症状がみられた場合には、ためらわず速やかに管轄の家畜保健衛生所までご連絡ください。

（東部家保防疫課 槻尾係長）

越境性動物疾病に関する海外の動向と水際防疫

9月8日に農林水産省主催の令和7年度越境性動物疾病防疫対策強化推進会議がオンラインで開催されました。会議では越境性動物疾病に関する最新の動向について説明がありました。

【高病原性鳥インフルエンザ】

高病原性鳥インフルエンザは全世界的に広がっており、昨シーズンはニュージーランドで初めて発生が確認されました。北米では家きんで500件以上の発生に加え、乳牛でも感染が続いています。アジア地域に目を向けると、韓国で6月、台湾で7、8月に発生が確認されており、流行シーズンに限らず警戒が必要です。

【アフリカ豚熱】

アフリカ豚熱は2007年にアフリカからジョージアへ侵入して以降、ヨーロッパ、アジアをはじめ、南米やオセアニアの一部にも拡大しています。隣の韓国では豚と同時に野生いのししの感染摘発事例も継続しており、日本への侵入リスクは依然として高いままです。また、訪日外国人数の増加とそれに伴う輸入禁止畜産物の摘発数も急増していることが侵入リスク要因として懸念されています。

【口蹄疫】

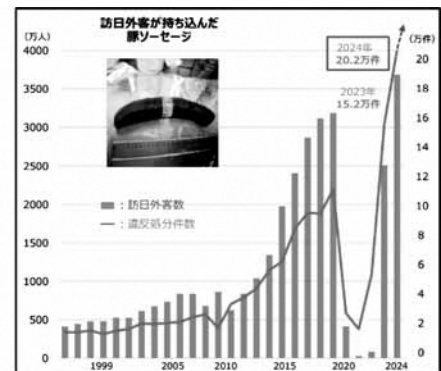
口蹄疫は、世界各地で従来と異なる新たな型のウイルスの侵入が確認されています。2022年には生体輸出に伴って南米系統のウイルス株（O/Euro-SA、A/Euro-SA）が北アフリカに侵入しました。2023年以降では、中東でアフリカ土着の血清型（SAT1、SAT2）が初めて発生、2025年に入ってから、ヨーロッパの清浄地域だったドイツとハンガリー・スロバキアにそれぞれ異なる経路で別系統のウイルスが侵入しています。

【水際防疫の強化について】

2024年の訪日外客数は3,687万人にのぼり、持込禁止品の摘発件数は20.2万件に達するなど著しく増加しています（右図）。農林水産省では、動物検疫における家畜防疫官の権限を強化し、動植物検疫探知犬を増頭するなどして水際検疫の強化に取り組んでいます。組織的かつ反復した悪質事例も顕在化してきており、令和7年7月31日現在で、携帯品検査においては7件11名、郵便物検査においては2件4名の逮捕事例が発覚しています。

このような中、水際での疾病侵入防止対策強化の一環として実施された、外国食材店における違法輸入豚肉製品緊急調査の結果、購入した豚肉製品66品について、違法輸入を疑う品が12品あり、このうち2品からアフリカ豚熱ウイルス遺伝子が検出されました。

これまでの検疫の実績や調査の結果から、あらゆるルートから国内に病原体が持ち込まれていることが明らかになっています。前述の違法事例のような悪質性はなくとも、畜産物の持ち込みが禁止されていることを知らずに持ち込んでしまう可能性もあります。外国人を雇用されている事業主の方は、畜産物を海外から違法に持ち込むことのないよう改めて従業員に周知をお願いします。（東部家保環境課 宮本課長）



訪日外客数と持込禁止品の摘発件数

出典：農林水産省会議資料

豚熱ワクチンの確実な免疫獲得のために

9月12日、富山県獣医師会主催の研修会が開催され、日本養豚開業獣医師協会の代表で愛知県のあかばね動物クリニックの伊藤先生をお招きし、豚熱についてご講演いただきました。その講演のなかで、「移行抗体だけでは子豚を豚熱感染から防御できない危険性」について指摘がありました。

現在国内で流行している豚熱ウイルスは「遺伝子型2」、接種している豚熱ワクチンは「遺伝子型1」に分類され、遺伝子型が異なります。子豚は母豚の初乳から得られる移行抗体で感染症から守られますが、「ワクチンと異なる遺伝子型の豚熱ウイルス」の感染を防ぐためには、大量の抗体が必要となり、移行抗体だけでは十分に子豚を守ることが難しい状況です。豚熱のワクチン接種により子豚自身が獲得した免疫であれば、遺伝子型が異なる野外ウイルスに対しても感染を防ぐことができることから、いかに早く子豚が豚熱に対して自分の免疫を獲得できるかが非常に重要となります。

特に、豚の免疫を抑制することに大きく関与している豚繁殖・呼吸障害症候群（PRRS）ウイルスや豚サーコウイルス2型（PCV2）ワクチンの接種タイミングは非常に重要で、PRRS ワクチンやPCV2 ワクチンの接種後に豚熱ワクチンを接種する場合は、接種間隔を2週間空けるより1週間と短くする方がその後の豚熱の免疫獲得は良好という論文報告が紹介されました。なお、伊藤先生が実際に農場指導を行う際は、PRRS やPCV2 ワクチンより先に豚熱ワクチンを接種するよう指導しているとのことでした。

近年の豚熱発生のほとんどは、ワクチン接種前の子豚での発生となっています。10月2日に群馬県で発生した100例目の豚熱事例でも離乳豚が発症しています。豚熱を発生させないためにも、子豚へのワクチン接種日齢をできるだけ早めるようお願いします。（東部家保防疫課 先名係長）

第66回全国家畜保健衛生業績発表会開催される

9月11日から12日にかけて、東京都の銀座ブロッサム中央会館において第66回全国家畜保健衛生業績発表会が開催されました。全国512題の演題の中から、ブロック選出を経た48題の発表があり、「養鶏場密集地域を中心とした高病原性鳥インフルエンザ対策へのドローンの活用（千葉県）」と「*Salmonella* Dublin 近年分離株のサルモネラ用培地での発育性と色素耐性の関連評価（島根県）」の2題が農林水産大臣賞を受賞しました。本県からは、東部家畜保健衛生所の山口係長が「*Eimeria ninakohlyakimovae*による山羊の肝コクシジウム症」について発表し、症例の少ない山羊の病性鑑定であることや詳細な病理検査を行っていることが高く評価され、農林水産省消費・安全局長賞を受賞しました。



山口係長の発表の様子

発表会の中で注目される演題としては、牛の流行性出血病ウイルス血清型6についての事例報告が3題ありました。この病気は令和5年度には九州地方南部での発生報告だけでしたが、令和6年度に本州まで拡大し、兵庫県や京都府での発生報告がありました。イバラキ病に似た症状を呈し、嚥下障害、異常産、乳量低下がみられ、死亡例の報告もありました。発生時期が9月から11月であることから、この時期警戒すべき伝染病であると考えられました。流死産や異常子牛の娩出が繰り返される場合は、流行性出血病ウイルス血清型6の関与も考慮したうえで、診療獣医師や家畜保健衛生所への相談をお願いします。

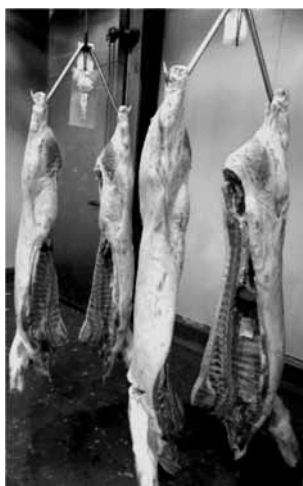
（東部家保環境課 柳係長）

令和7年度富山県畜産共進会（肉豚の部）が開催されました

9月12日、射水市の富山食肉総合センターにおいて、令和7年度富山県畜産共進会（肉豚の部）が開催されました。今回は県内11農場から、去勢と雌の2頭1組で50組100頭が出品されました。（公社）日本食肉格付協会富山事業所の吉田所長をはじめ3名の審査員による厳正な審査の結果、優等賞3点、1等賞6点が選ばれました。

優等賞1席（富山県知事賞）は、黒部市農協の（有）木島農場さんが受賞されました。受賞した枝肉は、去勢が79.4kg、背脂肪1.9cm、格付「極上」、雌が枝肉重量77.9kg、背脂肪2.3cm、格付「上」という結果で、審査講評では「去勢と雌の重量に差がなく、脂肪の付着が良く脂質はきめ細かい。ロース芯が大きくバラの厚さも良好で、切開面のロースと周囲筋に脂肪交雑があり、外観すべてが高いレベル」と評価されました。

上位の審査結果は右表のとおりでした。受賞された皆様おめでとうございます。



優等賞1席の枝肉



優等賞1席を受賞された木島さん

令和7年度富山県畜産共進会（肉豚の部）審査結果

区分	農協名	受賞者
優等賞1席	黒部市	（有）木島農場
優等賞2席	黒部市	（有）シンムラ シンキ農場
優等賞3席	魚津市	（有）シンムラ 東部養豚センター
1等賞1席	いなば	（有）シンムラ 小矢部養豚

（東部家保環境課 宮本課長）

検査室レポート

検査実施状況（令和7年6月21日～令和7年9月20日現在）

区 分	畜 種	診断名・検査名	件数	頭羽数	検体数
病性鑑定	乳用牛	牛ロタウイルス病	1	3	3
		牛トロウイルス病	1	4	4
		牛伝染性リンパ腫（届出伝染病）	1	1	1
		細菌性乳房炎	37	127	286
		真菌性乳房炎	1	1	1
		誤嚥性肺炎	2	2	2
		流・死産胎子	14	17	17
		熱中症	17	18	18
		その他	64	85	102
	肉用牛	牛パストツレラ症と牛マイコプラズマ肺炎	1	1	1
		牛ロタウイルス病	1	1	1
		牛クロストリジウム・パーフリンゲンス感染症	1	1	1
		牛コクシジウム病	4	4	4
		尿石症	2	2	2
		熱中症	3	3	3
		尿毒症	1	1	1
		流・死産胎子	13	15	15
		その他	30	33	36
	豚	豚レンサ球菌症	1	1	1
		その他	1	1	1
	鶏	ロイコチトゾーン症（届出伝染病）	1	3	3
		鶏コクシジウム病	1	3	3
		その他	2	6	6
	めん羊・山羊	細菌性乳房炎	4	7	7
		めん羊の消化管内寄生虫症	1	1	1
		その他	9	12	19
一般検査	牛・豚・鶏・山羊		92	728	910
鳥インフルエンザ検査	鶏	抗体検査	18	180	180
BSE 検査	牛	エライザ検査	0	0	0
TSE 検査	めん羊・山羊	ウェスタンブロットまたは免疫組織学的検査（動物衛生研究部門に依頼）	3	3	3
豚熱検査	野生いのしし	PCR 検査	12	509	509
		ELISA 検査	4	368	368
合 計			343	2,141	2,509

（東部家保検査課 宮澤課長）

水田政策の見直しにあたってのアンケート調査へのご協力をお願い（農林水産省）

農林水産省では令和9年度以降の水田政策の見直しの検討にあたって、飼料用米、稲WCS（WCS用稲）、飼料作物について生産・利用の状況や今後の意向を把握するためのアンケート調査を実施しております。本調査は「飼料用米、稲WCS、飼料作物を利用している畜産農家（乳用牛、肉用牛、豚、鶏）」「飼料作物等の生産者」「地域再生協議会」を対象に実施するものです。現場の実情を踏まえた検討を行うためにもご協力をお願いします。

対象の方は同封のチラシで詳細をご確認いただき、記載のURL又はQRコードからご回答をお願いいたします。

（農業技術課畜産振興係 早苗主任）

防 疫 情 報

全国の主な家畜伝染病の発生

豚熱（法定伝染病）

（10月2日現在）

事例	発生日	発生場所	飼養頭数	備考
100	10月2日	群馬県桐生市	約5,900頭	

県内の主な家畜伝染性疾病の発生

病 名	畜種	発生日	戸数	頭羽数	備考
牛伝染性リンパ腫（届出伝染病）	牛	8月20日	1	1	
牛コクシジウム病	牛	8月23日	1	1	
豚丹毒（届出伝染病）	豚	9月8日	1	1	と畜場発見
ロイコチトゾーン症（届出伝染病）	鶏	9月9日	1	3	
めん羊の消化管内寄生虫症	めん羊	9月2日	1	1	

県内における野性いのしし豚熱 PCR 陽性事例（令和7年8月28日～10月1日検査実施分）

	発見状態	発見又は捕獲日	発見又は捕獲場所	成長区分	性別
1	捕獲	8月31日	氷見市懸札地内	幼獣	雌
2	捕獲	9月19日	氷見市吉懸地内	成獣	雌

【参考】令和元年7月30日以降の野性いのしし豚熱検査結果（単位：頭）

区 分	陽 性	陰 性	計
死亡いのしし	25	3	28
捕獲いのしし	160	4,731	4,891
合 計	185	4,734	4,919

富山県収入証紙の販売が終了しました

これまで各種手数料を納付する際にご利用いただいていた、富山県収入証紙の販売が令和7年9月末日をもって終了しました。10月1日以降は、電子申請システムを利用した電子納付もしくは県庁や警察署等に設置されている納付窓口での納付をお願いします。なお、新たに証紙を購入することはできませんが、すでに購入済みの証紙は令和8年3月31日まで使用可能です。詳細は県のホームページ（<https://www.pref.toyama.jp/1800/kurashi/seikatsu/shoshi/20241212.html>）や本誌674号（令和7年7月号4ページ）に掲載されていますので参考にしてください。各種申請に際してご不明な点がありましたら、最寄りの家畜保健衛生所までご相談ください。

（東部家保環境課 宮本課長）

☆ お 知 ら せ ☆

催 事 等	期 日	場 所
令和7年度野生いのししにおける アフリカ豚熱防疫演習	10月17日	富山県林業普及センター、富山県森林研究所樹木園
令和7年度畜産優良施設等の視察研修	10月21～22日	滋賀県（竜王町、日野町）
北陸三県和牛子牛市場、 県畜産共進会（和牛子牛の部）	10月23日	北陸三県家畜市場（金沢市）
とやまグルメ・フードフェス2025	10月25～26日	富山産業展示館（テクノホール）
食品安全フォーラム in とやま	11月6日	パレブラン高志会館

発 行 所 富山県東部家畜保健衛生所 https://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1687/
〒939-3536 富山市水橋金尾新4-6 電話(076)479-1106 F A X (076)479-1140
編 集 者 宮本 剛志（富山県東部家畜保健衛生所）
○最新号は右のQRコードからいつでもご覧いただけます。

